



工具診断コントローラ「OnePackEdge MARSYS」が、 2019 年度グッドデザイン賞を受賞しました。

切削加工機において、刃具は、製品品質を決める主役であり、最も寿命の短い機械部品です。そのため、信頼性を向上し、刃具交換の周期を延長化するうえで、切削時の刃先変化の診断が重要です。また、従来の工具診断コントローラは、切削加工機外部に取り付けられていましたが、後付けによる煩雑感を払拭するため内部に取り付けたいというニーズに応える必要がありました。そこで、工具診断コントローラ「OnePackEdge MARSYS」（組立加工データ収集システム「OnePackEdge」の派生シリーズ品）を開発しました。

開発にあたって、現場のニーズを徹底的にリサーチし、機能を厳選することで、従来製品と比較して体積を約 1/10 と極限まで小型化し、切削加工機の内部に取り付けられるようにしました。また、加工機の暗い内部でも扱いやすくするために、表示文字に読みやすさを考慮した当社オリジナル書体を採用し、先進性と高級感を表現した明るいシルバーを本体色に採用して文字とのコントラストを高めました。このような課題解決のアプローチが評価されました。



**GOOD DESIGN
AWARD 2019**



*本誌に記載されている会社名および製品名は、それぞれの会社が所有する
商標または登録商標である場合があります。